

GRE 数学完全攻略 2021 年度版

正誤表

2021 年 4 月 26 日

本書中、下記に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
(製本版を購入されたかたは、2020 年 11 月 14 日以降にて訂正した箇所をご覧ください。)

- p.14 「Sample Question(MC2 問題)」の問題文 1 行目 (2020 年 11 月 14 日版で訂正済)
誤 by more than \$20billions from the year
正 by more than \$10billions from the year
- p.14 「Sample Question(MC2 問題)」の解説 1 行目、3 行目 (2020 年 11 月 14 日版で訂正済)
誤 \$20billions(1 メモリ)
正 \$10billions(1 メモリ)
- p.41 「素数」の基本事項のまとめ素数の判定法 1 行目 (2020 年 10 月 20 日版で訂正済)
誤 素数かどうかの判別ができないときは、下で示されるの n 以下
正 素数かどうかの判別ができないときは、下で示される n 以下
- p.47 「素数-応用問題 2(MC1 問題)」の解説 4 行目 (2020 年 9 月 24 日版で訂正済)
誤 x, y, z の 2 つ以上が 1 があると、
正 x, y, z の 2 つ以上が 1 であると、
- p.57 「約数-応用問題 1(QC 問題)」の解説 2 行目 (2020 年 9 月 24 日版で訂正済)
誤 2 の倍数 2, 4, 6, 8, 10
正 2 の倍数 2, 4, 6, 8, 10
- p.57 「約数-応用問題 3(MC1 問題)」の解説下から 2 行目 (2020 年 10 月 20 日版で訂正済)
誤 $n^3 = 2^4 \times 3^1 \times m = 2^6 \times 3^3 \times p = (2^2 \times 3 \times q)^3 \times p$
正 $n^3 = 2^4 \times 3^1 \times m = 2^6 \times 3^3 \times p = (2^2 \times 3 \times q)^3$
- p.74 「最大公約数・最小公倍数」の基本事項のまとめ最大公約数・最小公倍数の求め方 2(3

つの数の場合)の具体例 1 行目 (2020 年 10 月 20 日版で訂正済)

誤 24 と 36 と 54 の最大公約数・最小公倍数を求める。

正 24 と 36 と 48 の最大公約数・最小公倍数を求める。

- p.80 「最大公約数・最小公倍数-基礎問題 2(MC1 問題)」の問題文 (日本語訳)2 行目 (2021 年 1 月 11 日版で訂正済)

誤 板を全く無駄にしない切り方で

正 板を全く無駄にしない切り方で

- p.89 「偶数・奇数-基礎問題 4(QC 問題)」の解説下から 2 行目 (2021 年 1 月 11 日版で訂正済)

誤 $z = \text{偶}$ を 2 で割り切れるので

正 $z = \text{偶}$ は 2 で割り切れるので

- p.90 「偶数・奇数-応用問題 1(QC 問題)」の解説下から 4 行目 (2020 年 11 月 14 日版で訂正済)

誤 $(6 \times 3) \div 4 = 4$ 余り 2 と 4 で割ると 2 余るので、Quantity B = 2 となる。

正 $(6 \times 3) \div 4 = 18 \div 4 = 4.5$ となるので、Quantity B = 5 となる。

- p.90 「偶数・奇数-応用問題 1(QC 問題)」の解説下から 2 行目 (2020 年 11 月 14 日版で訂正済)

誤 Quantity A (= 0) < Quantity B (= 2) となるかが確定しないので、

正 Quantity A (= 0) < Quantity B (= 5) となるかが確定しないので、

- p.91 「偶数・奇数-応用問題 2(MC1 問題)」の問題文 (日本語訳)1 行目 (2020 年 12 月 28 日版で訂正済)

誤 次の選択紙の一つを除いた全てが奇数

正 次の選択肢の一つを除いた全てが奇数

- p.96 「連続する数-基礎問題 2(MC1 問題)」の問題文 (日本語訳)1 行目 (2021 年 1 月 11 日版で訂正済)

誤 連続する 6 個の奇数において

正 連続する 6 個の奇数において

- p.100 「余り-確認問題 2」の解説上から 1 行目 (2021 年 1 月 11 日版で訂正済)

誤 「余りと約数の利用」の 2. のパターンに相当。

正 「余りと約数の利用」の2のパターンに相当。

- p.104 「余り-基礎問題3(MC1問題)」の補足5行目(p.104の1行目)(2020年9月24日版で訂正済)

誤 $xy = (mz + 1)(nz + 7) = mz^2 + 7mz + nz + 7 = z(\underbrace{mz + 7m + n}) + 7$ となる

正 $xy = (mz + 1)(nz + 7) = mnz^2 + 7mz + nz + 7 = z(\underbrace{mnz + 7m + n}) + 7$ となる

- p.104 「余り-基礎問題3(MC1問題)」の補足12行目(p.104の8行目)(2020年11月14日版で訂正済)

誤 しかし、 $\frac{x}{z}$ は余りが1であり、

正 しかし、 $\frac{x}{z}$ は余りが2であり、

- p.106 「余り-応用問題1(MC1問題)」の解説4行目(p.106の3行目)(2020年9月24日版で訂正済)

誤 ㊸ $\frac{p}{2} = \frac{(6k + 4)}{3}$

正 ㊸ $\frac{p}{3} = \frac{(6k + 4)}{3}$

- p.120 「分数-応用問題2(MC1問題)」の解説3行目(2021年1月11日版で訂正済)

誤 $= \frac{1}{3 + \frac{2}{8+1}} = \frac{1}{3 + \frac{2}{8+1}}$

正 $= \frac{1}{3 + \frac{2}{8+1}} = \frac{1}{3 + \frac{2}{9}}$

- p.121 「分数-応用問題3(MC1問題)」の解説下から2行目(2021年1月11日版で訂正済)

誤 $= \frac{5x - 4y}{-3y + 5(2x - y)} = \frac{5x - 4y}{-3y + 10x - 5y} = \frac{5x - 4y}{10x - 8y}$

正 $= \frac{5x - 4y}{-3y + 10x - 5y} = \frac{5x - 4y}{10x - 8y}$

- p.121 「分数-応用問題3(MC1問題)」の解説下から2行目(2020年10月20日版で訂正済)

誤 $= \frac{\cancel{5x} - 4y^1}{2(\cancel{5x} - 4y)^1} = \frac{1}{2}$

正 $= \frac{(\cancel{5x} - 4y)^1}{2(\cancel{5x} - 4y)^1} = \frac{1}{2}$

- p.136 「指数-基礎問題6(QC問題)」の解説最終行(2020年9月24日版で訂正済)

誤 Quantity A(= 6) > 0 > Quantity B(= 0.6) が成立し

正 Quantity A(= 6) > Quantity B(= 0.6) が成立し

- p.137 「指数-基礎問題 9(MC1 問題)」の問題文 (英文)1 行目 (2020 年 10 月 1 日版で訂正済)

誤 $2^{k-1} + 2^k - 2^{k+1} = 2^k x$ が成立するとき、 x の値はいくつか?

正 If $2^{k-1} + 2^k - 2^{k+1} = 2^k x$, what is the value of x ?
- p.138 「指数-基礎問題 9(MC1 問題)」の問題文 (解説)1 行目 (2020 年 10 月 1 日版で訂正済)

誤 If $2^{k-1} + 2^k - 2^{k+1} = 2^k x$, what is the value of x ?

正 $2^{k-1} + 2^k - 2^{k+1} = 2^k x$ が成立するとき、 x の値はいくつか?
- p.140 「指数-応用問題 2(QC 問題)」の解説 5 行目 (2020 年 9 月 24 日版で訂正済)

誤 基本事項もまとめにあるとおり、

正 基本事項のまとめにあるとおり、
- p.141 「指数-応用問題 3(QC 問題)」の解説 1 行目 (2020 年 9 月 24 日版で訂正済)

誤 これに揃えるため右辺の $1 = 2^0$ と捉える

正 これに揃えるため右辺を $1 = 2^0$ と捉える
- p.141 「指数-応用問題 3(QC 問題)」の解説 2 行目 (2021 年 1 月 11 日版で訂正済)

誤 $2^{-x} + 2^{-x} > 1 \iff 2 \times 2^{-x} > 0 \iff 2^1 \times 2^{-x} > 2^0$

正 $2^{-x} + 2^{-x} > 1 \iff 2 \times 2^{-x} > 1 \iff 2^1 \times 2^{-x} > 2^0$
- p.142 「指数-応用問題 5(QC 問題)」の解説 4 行目 (2020 年 11 月 14 日版で訂正済)

誤 $= 10^{-8} \times (0.1)^{-7} \times 2^7 = 2^7 \times 10^{-15} = 128 \times 10^{-15}$

正 $= 10^{-8} \times (0.1)^7 \times 2^7 = 2^7 \times 10^{-15} = 128 \times 10^{-15}$
- p.148 「累乗根」の解説最終行 (2021 年 1 月 11 日版で訂正済)

誤 $-16(= x)$ の 4 乗根存在しない。

正 $-16(= x)$ の 4 乗根は存在しない。
- p.152 「根-基礎問題 1(QC 問題)」の解説 1 行目 (2021 年 1 月 11 日版で訂正済)

誤 Quantity A は平方根の計算ができるので

正 Quantity A は平方根の計算ができるので
- p.160 「根-応用問題 6(MC1 問題)」の問題文 (英文)1 行目 (2020 年 10 月 1 日版で訂正済)

誤 If \sqrt{p} is an integer

正 If p is an integer

- p.160 「根-応用問題 6(MC1 問題)」の問題文 (解説)1 行目 (2020 年 10 月 1 日版で訂正済)
誤 \sqrt{p} が整数で
正 p が整数で
- p.160 「根-応用問題 6(MC1 問題)」の補足 2 行目 (2020 年 11 月 14 日版で訂正済)
誤 と素因数分解できる。 p はどのような整数でも取ることができ、 q は平方数なので q は $\pm 2^r \times 3^s$ (r, s は偶数) と表すことができる。
正 と素因数分解できる。 q を $\pm 2^r \times 3^s$ とおくと、 $q^2 = 2^{2r} \times 3^{2s}$ となるので、 $0 \leq 2r \leq 3, 0 \leq 2s \leq 2$ であることが分かる。
- p.175 「小数-応用問題 3(MC1 問題)」の問題文 (日本語訳)1 行目 (2021 年 1 月 11 日版で訂正済)
誤 積が 36 となるようなものはいくつがあるか?
正 積が 36 となるようなものはいくつあるか?
- p.177 「小数-応用問題 6(NE 問題)」の問題文 (日本語訳)1 行目 (2021 年 1 月 11 日版で訂正済)
誤 小数において、1 つ以上の連続する桁の上の線は、
正 小数において、1 つ以上の連続する桁の上の線は、
- p.178 「小数-応用問題 7(NE 問題)」の解説 7 行目 (2020 年 10 月 1 日版で訂正済)
誤 • ab のとき
正 • $a < b$ のとき
- p.186 「実数-応用問題 2(QC 問題)」の解説 2 行目 (2020 年 11 月 14 日版で訂正済)
誤 2 乗して 1 より小さくなる値は、元の値の絶対値は小さくなるので、
正 2 乗して 1 より小さくなる値は、元の値の絶対値は 1 より小さくなるので、
- p.189 「実数-応用問題 5(MC 問題)」の解説 6 行目 (2020 年 11 月 14 日版で訂正済)
誤 $(5, 13, 2), (-5, 17, -2), (10, 14, 1), (-10, 11, -1)$
正 $(5, 13, 2), (-5, 17, -2), (10, 14, 1), (-10, 16, -1)$
- p.192 「連比」の解法下から 2 行目 (2021 年 1 月 11 日版で訂正済)
誤 上の図より、求める連なる比は以下の通り。

正 上の図より、求める連比は以下の通り。

- p.203 「比-応用問題 1(QC 問題)」の解説下から 3 行目 (2021 年 1 月 11 日版で訂正済)

誤 大学運営者に対する教授の分数での比率を分数で表

正 大学運営者に対する教授の比率を分数で表

- p.206 「比-応用問題 5(MC1 問題)」の問題文 (日本語訳)1 行目 (2021 年 1 月 11 日版で訂正済)

誤 1 箱にその缶詰ちょうど 12 個入れることができる。

正 1 箱にその缶詰をちょうど 12 個入れることができる。

- p.209 「比-応用問題 8(MC1 問題)」の解説 p.209 の 1 行目 (2020 年 10 月 26 日版で訂正済)

誤 すると、2 つの区画をあわせたセダンの台数には関する式を立てると、以下の通り。

正 すると、2 つの区画をあわせたセダンの台数に関する式を立てると、以下の通り。

- p.219 「百分率-基礎問題 5(QC 問題)」の問題文 (日本語訳)1 行目 (2021 年 1 月 11 日版で訂正済)

誤 あるフライトの対し以前は \$600 を請求していた。

正 あるフライトに対し以前は \$600 を請求していた。

- p.224 「百分率-応用問題 3(QC 問題)」の Quantity A(2020 年 10 月 26 日版で訂正済)

誤 The percent change in the total number

正 The percent change in the total number

- p.304 「不等式の解法-応用問題 5(MC2 問題)」の解説下から 3 行目 (2020 年 10 月 5 日版で訂正済)

誤 C 上記より、 $-7 < xy < 0$ より $x \neq 0, y \neq 0$ である。

正 C 上記より、 $-7 < xy < 0$ より $x \neq 0, y \neq 0$ である。

- p.310 「絶対値-基礎問題 3(MC2 問題)」の解説 6 行目 (2020 年 10 月 5 日版で訂正済)

誤 • $2x + 12 \leq 0 \iff 2x \leq -12 \iff x \leq -6$ の時

正 • $2x + 12 \leq 0 \iff 2x \leq -12 \iff x \leq -6$ の時

- p.317 「指数と根-基礎問題 3(MC1 問題)」の解説下から 2 行目 (2020 年 12 月 28 日版で訂正済)

誤 $\iff s^3 = x \iff x = x^{\frac{1}{3}} = \sqrt[3]{x}$

正 $\iff s^3 = x \iff s = x^{\frac{1}{3}} = \sqrt[3]{x}$

- p.317 「指数と根-基礎問題 3(MC1 問題)」の解説最終行 (2020 年 10 月 1 日版で訂正済)

誤 よって、答えはⒹとなる。

正 よって、答えはⒶとなる。

- p.335 「座標幾何-基礎問題 6(MC1 問題)」の解説 4 行目 (2020 年 9 月 24 日版で訂正済)

誤 $\sqrt{(x-4)^2 + (x-(-3))^2} = 5 \implies$

正 $\sqrt{(x-4)^2 + (y-(-3))^2} = 5 \implies$

- p.341 「座標幾何-応用問題 3(QC 問題)」の解説下から 3 行目 (2020 年 9 月 24 日版で訂正済)

誤 最後の不等式 $360 > 361$ が成立するので

正 最後の不等式 $360 < 361$ が成立するので

- p.342 「座標幾何-応用問題 4(QC 問題)」の解説下から 2 行目 (2020 年 9 月 24 日版で訂正済)

誤 Quantity A($= -2$) $>$ Quantity B($= -\sqrt{5} = -2.23\dots$)

正 Quantity A($= -2$) $>$ Quantity B($= -\sqrt{5} = -2.23\dots$)

- p.342 「座標幾何-応用問題 5(MC1 問題)」の問題文 (英文)1 行目 (2020 年 10 月 26 日版で訂正済)

誤 If $p \neq q$ and the slope of the line passing through points

正 If $p \neq q$ and the slope of the line passing through points

- p.374 「三角形-応用問題 3(QC 問題)」の解説下から 3 行目 (2020 年 10 月 8 日版で訂正済)

誤 (QuantityB) $= z + w = z + (c + d) = (a + c) + d = 180 + d$

正 (QuantityB) $= z + w = z + (c + d) = (z + c) + d = 180 + d$

- p.403 「四角形-基礎問題 6(MC1 問題)」の解説 1 行目 (2021 年 4 月 26 日版で訂正済)

誤 絨毯をの境界を

正 絨毯の境界を

- p.439 「円-応用問題 4(MC1 問題)」の解説下から 2 行目 (2020 年 11 月 21 日版で訂正済)

誤 $S = \pi r^2 = \pi \left(\frac{C}{2\pi}\right)^2 = \frac{\pi C}{4\pi^2} = \frac{C}{4\pi}$

正 $S = \pi r^2 = \pi \left(\frac{C}{2\pi}\right)^2 = \frac{\pi C^2}{4\pi^2} = \frac{C^2}{4\pi}$

- p.456 「立体-応用問題 3(MC1 問題)」の問題文 (英文)3 行目 (2020 年 10 月 20 日版で訂正済)

誤 ases when the closed crate rests

正 bases when the closed crate rests
- p.467 「場合の数-確認問題 4」の問題文 (英文)2 行目 (2020 年 10 月 7 日版で訂正済)

誤 and te Company B

正 and the Company B
- p.479 「場合の数-応用問題 2(QC 問題)」の解説 2 行目 (2020 年 10 月 7 日版で訂正済)

誤 「誰も 3 枚以上のコインを受け取るようなコインの配り方」

正 「誰も 3 枚以上のコインを受け取らないようなコインの配り方」
- p.480 「場合の数-応用問題 3 (QC 問題)」の問題文 (英文)3 行目 (2021 年 1 月 11 日版で訂正済)

誤 distributed among 8 student if no

正 distributed among 8 students if no
- p.495 「確率-応用問題 2(MC1 問題)」の解説下から 2 行目 (2020 年 10 月 7 日版で訂正済)

誤 $1 - \frac{1}{3} = \frac{2}{6}$

正 $1 - \frac{1}{3} = \frac{2}{3}$
- p.498 「確率-応用問題 6(MC1 問題)」の問題 (英文) の選択肢 (2020 年 10 月 7 日版で訂正済)

誤 Ⓐ 0.09 Ⓑ $(0.09)^{12}$ Ⓒ $1 - (0.09)^{12}$ Ⓓ $(0.91)^{12}$ Ⓔ $1 - (0.91)^{12}$

正 Ⓐ 0.09 Ⓑ $(0.09)^{15}$ Ⓒ $1 - (0.09)^{15}$ Ⓓ $(0.91)^{15}$ Ⓔ $1 - (0.91)^{15}$
- p.534 「他の統計量-応用問題 4(QC 問題)」の問題 (英文) の 2 行目 (2020 年 10 月 8 日版で訂正済)

誤 into 7 intervals.

正 into 8 intervals.
- p.534 「他の統計量-応用問題 4(QC 問題)」の問題 (解説) の 1 行目 (2020 年 10 月 8 日版で訂正済)

誤 7つの区間にグループ分けし

正 8つの区間にグループ分けし

- p.553 「集合-基礎問題 2(QC 問題)」の解説の 2 行目 (2020 年 11 月 23 日版で訂正済)
 - 誤 そして、 $x + y + 25 + 25 = 70 \iff x + y = 20 (\iff x = 20 - y)$ を用いて、
 - 正 そして、 $x + y + 25 + 25 = 70 \iff x + y = 20 (\iff y = 20 - x)$ を用いて、

- p.553 「集合-基礎問題 2(QC 問題)」の解説の 4 行目 (2020 年 11 月 23 日版で訂正済)
 - 誤 (影を付けた領域の面積) $= 25 + y = 25 + (20 - y) = 45 - y < 50 \quad (\because y \geq 0)$
 - 正 (影を付けた領域の面積) $= 25 + y = 25 + (20 - x) = 45 - x < 50 \quad (\because x \geq 0)$

- p.566 「関数」の基本事項のまとめ合成関数の具体例 1(2020 年 10 月 20 日版で訂正済)
 - 誤 $f(y) = \sqrt{x + 4}$
 - 正 $f(x) = \sqrt{x + 4}$